



2025年8月21日

各位

会社名 株式会社ヒト・コミュニケーションズ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 グループ CEO 安井 豊明
(コード番号：4433 東証プライム)
問合せ先 執行役員 社長室長兼経営企画部長 飯島 幸一
(TEL. 03-5924-6075)

**【ヒトコム】アフター万博を見据えスタッフのキャリア形成支援プログラムを開始
第一弾「お仕事相談会」を8月20日から3日間開催
～大阪観光局の協力を得て万博後における観光分野の持続的な発展に貢献～**

当社は、グループ中核企業である株式会社ヒト・コミュニケーションズ（以下、ヒトコム）が、「アフター万博」を見据えて大阪・関西万博で稼働中のスタッフを対象としたキャリア形成支援プログラム（以下、本プログラム）を公益財団法人大阪観光局（理事長：溝畑宏）の協力により開始し、その第一弾として2025年8月20日から3日間「お仕事相談会」を開催することをお知らせいたします。

■ **万博で培った経験を、地域観光の未来へ**

2025年4月13日に開幕した大阪・関西万博では、延べ約2万人のスタッフが会場運営、パビリオン対応、語学サポートなど多岐にわたる業務に従事し、高いホスピタリティと実務経験を積んでいます。ヒトコムでは万博で就業中のスタッフ約1,000名を対象に、万博閉幕後も観光業界での活躍を支援するためのキャリア形成支援を行います。手始めに、8月20日より「お仕事相談会」を3日間開催し、個々のスタッフの今後のキャリアに関する個別相談やマッチング支援を行います。

■ **観光人材の需要が高まる大阪・関西エリア**

大阪・関西地域では、万博を契機に観光需要が急拡大しており、特に以下のようなイベントや動向が人材需要を押し上げています。

- **祇園祭（京都）や天神祭（大阪）、なにわ淀川花火大会**など、夏の大型イベントが訪日観光客を惹きつけ、現場対応力の高い人材が求められています。
- **体験型観光**（着物体験、食文化体験、伝統工芸ワークショップなど）へのニーズが高まり、語学力や接客スキルを持つ人材の需要が増加しています。
- 万博を契機に、**関西広域での観光誘客施策**が進行中。奈良、和歌山、伊賀など地方都市でも観光人材の確保が急務となっています。
- 大阪・関西万博の会場となった夢洲は、国際観光の新たな拠点として、**統合型リゾート計画（IR）等の整備**が進行中であり、高度な専門性を備えたホスピタリティの高い観光人材の育成が求められています。

また、2024年には訪日外国人数が過去最多の3,686万人を記録する中、大阪観光局の調査によると、2025年上半期に大阪を訪れた訪日外国人数は、過去最高の847.6万人（昨年比23%増）となっており、今後は「量から質」への転換がマーケットからも求められることが予想され、万博で訪日外国人を含めた多くの接客経験を持つ当社スタッフの活躍のフィールドは今後ますます拡大するものと考えております。

■ 大阪観光局に対する協力要請

ヒトコムは 2022 年度より大阪観光局のオフィシャルパートナー契約を締結し、同局と共に今回の万博の後には大阪 IR をも控える大阪の観光振興に共に取り組んでまいりました。同局は、「大阪楽遊パス」の販売や同局の賛助会員制度により、大阪の主要な観光施設や宿泊事業者、お土産物販売の事業者等との強いネットワークがあり、ヒトコムのスタッフの活躍のフィールドを更に広げてくれるものと期待しております。同局と早急に具体的な計画を立案し、実施してまいります。

大阪観光局 溝畑理事長コメント

大阪・関西万博も、残す会期があと 50 日余りで、いよいよ終盤に入っております。この度の万博は 160 もの国や機関が参加しての大きな国際交流の場となりました。そこで、働く人たちは、高度なホスピタリティを持ち合わせ、そして会期後に万博レガシーをそれぞれの新しいフィールドで息づかせる貴重な存在となります。ぜひ、今後の大阪・観光都市づくりにご活躍いただきたいと期待いたしますので、我々も全力を挙げて応援いたします。

■ 今後の展望

ヒトコムは観光業界および関連する業界で求められる実務スキルやホスピタリティ・マインドを体系的に学べる研修プログラムを大阪観光局の協力のもと提供。観光施設や宿泊業、地域イベント運営など、多様なフィールドでの就業機会を創出することで、観光人材を持続的に育成する仕組みを構築・運用し、地域経済の活性化にも貢献してまいります。



※2024 年 10 月 15 日 万博ゲストサービスクルー入社式